

第1学年梅組 国語「たのしくつかおう かんじのはなし」略案

指導者 小野 千晴

1. 日 時 10月27日(金) 2校時(9:20～10:05)

2. ねらい ○漢字の成り立ちに興味をもって、読んだり書いたりすることができる。

3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1. 既習事項の漢字のでき方を考える。	◇「人」「見」の漢字カードを準備する。	◇「人」「見」「男」「女」「子」も簡単な絵のようなものからできていることを紹介する。	
9:25	2. 課題を確かめる。 ○かんじのできかたをしろ。 「山」はどんな形からできた漢字か絵に表して考える。	◇ワークシートを準備する。 ◇「かんじは、はじめは、かんたんなえのようなものでした。」を確認する。		
9:35	3. いろいろな漢字の成り立ちを知る。		◇教材文の中で説明されている「山」「雨」「水」「上」「下」について成り立ちを動画で提示する。	
9:45	4. 教科書P16・17を読む。	◇簡単な絵カードを準備し、教科書を読みながら、漢字の成り立ちに興味をもてるようにする。		
9:50	5. 教科書を読み、どんな漢字がどんな絵からできたのかをワークシートにまとめる。	☆ワークシートに書き込みながら、漢字の成り立ちに興味をもって取り組むことができたか。	◇漢字には意味があること、正しい使い方をしていかなければならないこと、正しい筆順で書かなければいけないことを話す。	
10:00	6. 次の時間の学習の確認をする。			